

#41

PATENT APPLICATION
IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In re application of

Kiichiro SAKAMOTO, et al

Appln. No.: 09/991,902

Confirmation No.: 7533

Filed: November 26, 2001



Group Art Unit: 2614

Examiner: NOT YET ASSIGNED

For: METHOD AND SYSTEM FOR OFFERING COMMEMORATIVE IMAGE ON
VIEWING OF MOVING IMAGES

SUBMISSION OF PRIORITY DOCUMENT

Commissioner for Patents
Washington, D.C. 20231

Sir:

Submitted herewith is one (1) certified copy of the priority document on which a claim to
priority was made under 35 U.S.C. § 119. The Examiner is respectfully requested to
acknowledge receipt of said priority document.

Respectfully submitted,

SUGHRUE MION, PLLC
2100 Pennsylvania Avenue, N.W.
Washington, D.C. 20037-3213
Telephone: (202) 293-7060
Facsimile: (202) 293-7860
Enclosures: Japan 2000-357390
DM/tmm
Date: February 6, 2002

for *Peter A. McKean Reg. No. 38,551*
Darryl Mexic
Registration No. 23,063

W- 2827



日本国特許庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出願年月日

Date of Application:

2000年11月24日

出願番号

Application Number:

特願2000-357390

出願人

Applicant(s):

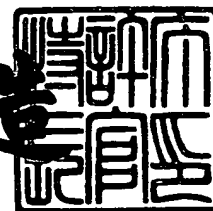
富士写真フイルム株式会社

CERTIFIED COPY OF
PRIORITY DOCUMENT

2001年10月 3日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

及川耕造



出証番号 出証特2001-3090143

【書類名】 特許願

【整理番号】 FF888599

【提出日】 平成12年11月24日

【あて先】 特許庁長官 殿

【国際特許分類】 H04N 1/00

【発明の名称】 動画プリントサービス方法及びシステム

【請求項の数】 13

【発明者】

 【住所又は居所】 神奈川県足柄上郡開成町宮台 7 9 8 番地 富士写真フイルム株式会社内

 【氏名】 坂本 喜一郎

【発明者】

 【住所又は居所】 神奈川県足柄上郡開成町宮台 7 9 8 番地 富士写真フイルム株式会社内

 【氏名】 山本 容靖

【特許出願人】

 【識別番号】 000005201

 【氏名又は名称】 富士写真フイルム株式会社

【代理人】

 【識別番号】 100080159

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 渡辺 望稔

 【電話番号】 3864-4498

【手数料の表示】

 【予納台帳番号】 006910

 【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

 【物件名】 明細書 1

 【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9800463

【ブルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 動画プリントサービス方法及びシステム

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

顧客が動画鑑賞中に、前記動画中の所望する場面の画像を指定して、顧客を特定する発注者情報及び前記画像の引き渡し方法を指定する画像引き渡し情報とともに、画像の発注をすると、

前記場面指定に基づいて、前記動画の映像信号から、該当指定場面に対応するデジタル画像データを取り出し、所定のメモリに記憶し、

該記憶されたデジタル画像データを用いて動画鑑賞記念画像として作成し、前記指定場面を再現したプリントとして出力し、または該デジタル画像データとして所定の記録媒体に出力し、

前記作成された動画鑑賞記念画像を、前記発注者情報と照合し、前記指定された引き渡し方法で顧客に引き渡すことを特徴とする動画プリントサービス方法。

【請求項 2】

前記動画鑑賞記念画像は、前記指定場面を再現したプリントを用いて所定の形式で作成された写真集として顧客に引き渡される請求項 1 に記載の動画プリントサービス方法。

【請求項 3】

前記画像の発注があった場合に、前記場面指定に基づいて、前記動画の映像信号から、該当指定場面に対応するワンアクションのデジタル画像データを取り出し、所定のメモリに記憶し、該記憶されたワンアクションのデジタル画像データを動画鑑賞記念画像として所定の記録媒体に出力する請求項 1 に記載の動画プリントサービス方法。

【請求項 4】

前記記憶されたデジタル画像データに、顧客が用意した画像を合成して、動画鑑賞記念画像を作成する請求項 1 ～ 3 のいずれかに記載の動画プリントサービス方法。

【請求項 5】

顧客が場面の画像を指定して、前記メモリに記憶されたデジタル画像データをモニタに表示して、前記指定した場面の画像の中から、さらに顧客が最終的に画像の発注を行う場面の画像を選択するようにした請求項 1 ～ 4 のいずれかに記載の動画プリントサービス方法。

【請求項 6】

前記動画中の顧客が指定した場面の画像に対し、その前後所定時間範囲内の場面の画像に対するデジタル画像データを前記メモリに記憶し、該デジタル画像データをモニタに表示して、前記範囲内の場面の画像から、さらに顧客が最終的に画像の発注を行う場面の画像を指定するようにした請求項 1 ～ 5 のいずれかに記載の動画プリントサービス方法。

【請求項 7】

前記動画中の所定の複数の場面に対応するデジタル画像データを予め保持しておき、前記画像の発注があった場合に、前記場面指定に基づいて、前記予め保持されているデジタル画像データの中から、前記指定場面に最も近いものを取り出すようにした請求項 1 ～ 4 のいずれかに記載の動画プリントサービス方法。

【請求項 8】

顧客が動画鑑賞中に、前記動画中の所望する場面の画像を指定する場面指定手段と、

該指定された場面の画像を示す場面指定情報と、顧客を特定する発注者情報及び画像の引き渡し方法を指定する画像引き渡し情報と、により画像の作成を発注する画像発注手段と、

前記場面指定に基づいて、前記動画の映像信号から、該当指定場面に対応するデジタル画像データを取り出すデジタル画像データ取出手段と、

該取り出したデジタル画像データを記憶するメモリと、

該記憶されたデジタル画像データを用いて、前記指定された場面の画像を、動画鑑賞記念画像として、プリントに再現するプリント出力手段、及び所定の記録媒体にデジタル画像データとして出力する画像出力手段のうち少なくとも一つの手段と、

前記指定された引き渡し方法によって、前記動画鑑賞記念画像として、プリン

トまたは記録媒体に出力された画像を、前記発注者情報との照合を行った上で、引き渡す画像引渡手段と、

を備えたことを特徴とする動画プリントサービスシステム。

【請求項 9】

前記デジタル画像データ取出手段は、前記指定場面に対応するワンアクションのデジタル画像データを取り出して、前記メモリに記憶し、前記画像出力手段は、該記憶されたワンアクションのデジタル画像データを所定の記録媒体に出力するようにした請求項 8 に記載の動画プリントサービスシステム。

【請求項 10】

請求項 8 または 9 に記載の動画プリントサービスシステムにおいて、さらに画像入力手段と画像合成手段を有し、顧客が用意した画像を入力し、前記デジタル画像データに合成して、該合成画像を動画鑑賞記念画像として前記プリント出力手段または画像出力手段から出力するようにしたことを特徴とする動画プリントサービスシステム。

【請求項 11】

請求項 8 ～ 10 のいずれかに記載された動画プリントサービスシステムにおいて、さらに、顧客が場面の画像を指定して、前記メモリに記憶されたデジタル画像データを表示するモニタと、該モニタに表示された場面の画像の中から、顧客が最終的に画像を発注する場面を選択する場面選択手段を有することを特徴とする動画プリントサービスシステム。

【請求項 12】

前記デジタル画像データ取出手段は、前記顧客が指定した場面の画像に対し、その前後所定時間範囲内の場面の画像に対するデジタル画像データを取り出して、前記メモリに記憶し、該デジタル画像データを前記モニタに表示して、前記場面選択手段により、顧客が最終的に画像を発注すべき場面の画像を前記範囲内の場面の画像から指定するようにした請求項 11 に記載の動画プリントサービスシステム。

【請求項 13】

請求項 8 ～ 11 のいずれかに記載の動画プリントサービスシステムにおいて、

予め前記動画中の複数の場面の画像に対応するデジタル画像データを保持しておくデータベースを有し、前記デジタル画像データ取出手段は、顧客が指定した場面の画像に対し、その場面の画像に最も近いデジタル画像データを前記データベースから取り出すようにしたことを特徴とする動画プリントサービスシステム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、映画、ビデオあるいはテレビ等の動画を鑑賞して、顧客が気に入った画面を、動画鑑賞記念画像として所定の記録媒体等に出力し、顧客に提供する動画プリントサービス方法及びシステムに関する。

【0002】

【従来の技術】

従来、映画館においては、顧客に対して、映画を鑑賞した記念として、予めその映画の名場面や役者の写真をプロマイドとして用意したり、また、その映画のストーリーや解説等とともに、映画の複数の場面が織り込まれたパンフレット等を提供したりしている。

また、例えば個人が家庭でビデオ等を鑑賞しているときに、ある場面が気に入って、その画像が欲しいという場合に、その画面を静止画像としてプリントに出力することができるビデオプリンタが開発されている。

【0003】

例えば、特開昭64-11483号公報には、ビデオ画像から場面の変わり目毎にフレームを取り出すことにより、主要なシーンを自動的に取り出してプリントを作成するようにしたビデオプリンタが開示されている。

また、特開平6-253253号公報には、VTRからの再生信号をモニタに表示しつつ、画面の切り替わりに応じて画像を取り込み、所望のプリントを作成するようにしたビデオプリンタが開示されている。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、上述したような、従来映画館で予め用意されている映画の名場

面や役者のプロマイドあるいは映画のパフレット等は、その写真が必ずしも顧客の好みの写真、好みの場面と一致しているとは限らないという問題があった。

また、前記公報に開示されているビデオプリンタは、家庭で個人的にビデオを再生しつつ、プリントを出力するものであり、映画館のように多数の顧客が同時に動画を鑑賞している場合に、顧客の希望（注文）に応じて、上映中の映画のある場面の写真プリントを提供するというようなシステムは存在していない。

また、上記ビデオプリンタは、その出力媒体も写真プリントのみであり、解像度も低く、高品質なプリントが期待できない。さらに、従来は、動画中の場面のプリントをまとめて写真集としたり、あるいは動画中のあるワンアクションの部分をCD-R等の記録媒体に出力して短編動画集とするというようなサービスは行われていなかった。

【0005】

本発明は、前記従来の問題に鑑みてなされたものであり、顧客が映画やビデオあるいはTV放送等を鑑賞している場合に、顧客が選択した場面の画像を、プリント、写真集あるいは短編動画集として所定の記録媒体に出力し、動画鑑賞記念画像として顧客に提供する動画プリントサービス方法及びシステムを提供することを課題とする。

【0006】

【課題を解決するための手段】

前記課題を解決するために、本発明の第一の態様は、顧客が動画鑑賞中に、前記動画中の所望する場面の画像を指定して、顧客を特定する発注者情報及び前記画像の引き渡し方法を指定する画像引き渡し情報とともに、画像の発注をすると、前記場面指定に基づいて、前記動画の映像信号から、該当指定場面に対応するデジタル画像データを取り出し、所定のメモリに記憶し、該記憶されたデジタル画像データを用いて動画鑑賞記念画像として作成し、前記指定場面を再現したプリントとして出力し、または該デジタル画像データとして所定の記録媒体に出力し、前記作成された動画鑑賞記念画像を、前記発注者情報と照合し、前記指定された引き渡し方法で顧客に引き渡すことを特徴とする動画プリントサービス方法を提供する。

【0007】

また、前記動画鑑賞記念画像は、前記指定場面を再現したプリントを用いて所定の形式で作成された写真集として顧客に引き渡されることが好ましい。

【0008】

また、前記画像の発注があった場合に、前記場面指定に基づいて、前記動画の映像信号から、該当指定場面に対応するワンアクションのデジタル画像データを取り出し、所定のメモリに記憶し、該記憶されたワンアクションのデジタル画像データを動画鑑賞記念画像として所定の記録媒体に出力することが好ましい。

【0009】

また、前記記憶されたデジタル画像データに、顧客が用意した画像を合成して、動画鑑賞記念画像を作成することが好ましい。

【0010】

また、顧客が場面の画像を指定して、前記メモリに記憶されたデジタル画像データをモニタに表示して、前記指定した場面の画像の中から、さらに顧客が最終的に画像の発注を行う場面の画像を選択するようにしたことが好ましい。

【0011】

また、前記動画中の顧客が指定した場面の画像に対し、その前後所定時間範囲内の場面の画像に対するデジタル画像データを前記メモリに記憶し、該デジタル画像データをモニタに表示して、前記範囲内の場面の画像から、さらに顧客が最終的に画像の発注を行う場面の画像を指定するようにしたことが好ましい。

【0012】

また、前記動画中の所定の複数の場面に対応するデジタル画像データを予め保持しておき、前記画像の発注があった場合に、前記場面指定に基づいて、前記予め保持されているデジタル画像データの中から、前記指定場面に最も近いものを取り出すようにしたことが好ましい。

【0013】

また、同様に前記課題を解決するために、本発明の第二の態様は、顧客が動画鑑賞中に、前記動画中の所望する場面の画像を指定する場面指定手段と、該指定された場面の画像を示す場面指定情報と、顧客を特定する発注者情報及び画像の

引き渡し方法を指定する画像引き渡し情報と、により画像の作成を発注する画像発注手段と、前記場面指定に基づいて、前記動画の映像信号から、該当指定場面に対応するデジタル画像データを取り出すデジタル画像データ取出手段と、該取り出したデジタル画像データを記憶するメモリと、該記憶されたデジタル画像データを用いて、前記指定された場面の画像を、動画鑑賞記念画像として、プリントに再現するプリント出力手段、及び所定の記録媒体にデジタル画像データとして出力する画像出力手段のうち少なくとも一つ的手段と、前記指定された引き渡し方法によって、前記動画鑑賞記念画像として、プリントまたは記録媒体に出力された画像を、前記発注者情報との照合を行った上で、引き渡す画像引渡手段と、を備えたことを特徴とする動画プリントサービスシステムを提供する。

【0014】

また、前記デジタル画像データ取出手段は、前記指定場面に対応するワンアクションのデジタル画像データを取り出して、前記メモリに記憶し、前記画像出力手段は、該記憶されたワンアクションのデジタル画像データを所定の記録媒体に出力するようにしたことが好ましい。

【0015】

また、前記動画プリントサービスシステムにおいて、さらに画像入力手段と画像合成手段を有し、顧客が用意した画像を入力し、前記デジタル画像データに合成して、該合成画像を動画鑑賞記念画像として前記プリント出力手段または画像出力手段から出力するようにしたことが好ましい。

【0016】

また、前記動画プリントサービスシステムにおいて、さらに、顧客が場面の画像を指定して、前記メモリに記憶されたデジタル画像データを表示するモニタと、該モニタに表示された場面の画像の中から、顧客が最終的に画像を発注する場面を選択する場面選択手段を有することが好ましい。

【0017】

また、前記デジタル画像データ取出手段は、前記顧客が指定した場面の画像に対し、その前後所定時間範囲内の場面の画像に対するデジタル画像データを取り出して、前記メモリに記憶し、該デジタル画像データを前記モニタに表示して、

前記場面選択手段により、顧客が最終的に画像を発注すべき場面の画像を前記範囲内の場面の画像から指定するようにしたことが好ましい。

【0018】

また、前記動画プリントサービスシステムにおいて、予め前記動画中の複数の場面の画像に対応するデジタル画像データを保持しておくデータベースを有し、前記デジタル画像データ取出手段は、顧客が指定した場面の画像に対し、その場面の画像に最も近いデジタル画像データを前記データベースから取り出すようにしたことが好ましい。

【0019】

【発明の実施の形態】

以下、本発明に係る動画プリントサービス方法及びシステムについて、添付の図面に示される好適実施形態を基に、詳細に説明する。

【0020】

図1は、本発明に係る動画プリントサービス方法を実施する動画プリントシステムの概略を示すブロック図であり、以下説明する各実施形態において用いられる各機能をすべてまとめて表示したものである。

【0021】

図1に示す、動画プリントサービスシステム10は、映画館において、顧客が映画鑑賞中に指定した、上映中の映画の一場面の画像を、プリント等に出力して顧客に提供するシステムである。

本動画プリントサービスシステム10（以下、単にシステム10とする。）においては、スクリーン12に制御装置14により、映画がデジタル画像データによって上映されている。

【0022】

本システム10は、顧客が映画中の場面の画像を指定する場面指定手段16および画像の注文をする画像発注手段18を有している。場面指定手段16は、特に限定はなく、例えば、映画館の各座席に設けられたボタンやキー操作パネルのようなものでもよいし、映画館入場時に顧客に貸与される携帯情報端末あるいはリモコンスイッチ等のようなものでもよく、顧客が情報をシステム10側に送信

できるものであればよい。顧客が映画を鑑賞しながら操作するものであるので、なるべく操作が簡単なものが望ましい。また、画像発注手段18は、誰が注文しているのかを特定する発注者情報および画像の引き渡し方法（引き渡される媒体、引き渡す場所及び決済方法等を含む）を指定する引渡情報を画像発注情報としてシステム側に送信するものであり、前記場面指定手段16と同様に座席に設けられたボタン等あるいは顧客に貸与されるリモコン等でよいが、場面指定手段16と一体化されているのが好ましい。

また、場面指定手段16および画像発注手段18は、場面指定情報および発注者情報等をシステム10に送信するとともに、例えば磁気カード等の記録媒体にこれらの情報を記録しておき、後でこれを用いて、作成された動画鑑賞記念画像の引き渡しを受けるようにしてもよい。

【0023】

また、本システム10は、前記場面指定手段16および画像発注手段18からの信号を受け、制御装置14にアクセスして顧客が指定した場面の画像に対応するデジタル画像データを取り出すデジタル画像データ取出手段20および該取り出されたデジタル画像データを前記発注者情報等とともに記憶するメモリ22を有している。

また、本システム10は、メモリ22からデジタル画像データを読み出して所定の画像処理を施して動画鑑賞記念画像を作成する画像処理装置24、作成された動画鑑賞記念画像をプリントとして出力するプリント出力手段26、デジタル画像データを所定の記録媒体に出力する画像出力手段28および出力されたプリント等を顧客に引き渡す画像引渡手段30を有している。

【0024】

さらに、本システム10は、この他、画像入力手段32、モニタ34、場面選択手段36およびデータベース38を有している。

画像入力手段32は、映画の場面の画像に顧客が自分の画像を合成したい場合に、その画像を入力するためのものである。モニタ34は、上で指定した場面の画像を確認のために表示するためのものである。場面選択手段36は、前記モニタ34に表示された場面の画像の中から、顧客が本当に注文する画像を最終的に

選択するためのものである。また、データベース38は、映画の中から顧客が指定しそうないくつかの場面の画像を選び出して準備し、予め保持しておき、顧客が指定した場合に、この中から呼び出して用いるようにするものである。

【0025】

以下、本発明の各実施形態について説明する。

まず、本発明の第1実施形態について説明する。本第1実施形態は、映画館において、映画（動画）の鑑賞をしている顧客が、鑑賞中の映画の一場面の画像を指定すると、デジタル画像信号により上映されている映画の映像信号中から、指定された場面の画像を表すデジタル画像データを取り出し、その場面の画像を再現したプリント（またはその画像データを出力した記録媒体）を顧客に提供するものである。

【0026】

図2に、本発明の第1実施形態の大まかな処理の流れを、顧客側における画像発注、システム側における画像作成および照合／引渡に分けて示す。

顧客側においては、上映中の映画の場面の中から自分が欲しい場面の画像を指定して、画像の発注を行う。すなわち、まず図2のステップ100において、顧客は、場面指定手段16により、場面指定を行う。上述したように、場面指定手段16は、映画館の座席に設けられたボタンや操作パネルあるいはリモコン等の、顧客の情報をシステム側に伝える通信手段であり、回線によって、または無線でシステム側の制御装置14と接続されている。

【0027】

次に、ステップ102において、顧客は、発注者情報および画像引き渡し情報を特定した画像発注情報を、画像発注手段18によりシステム10側に送信して画像の発注を行う。画像発注手段18は、場面指定手段16と一体化されていることが好ましい。発注者情報は発注者を特定するためのものであり、例えば座席の番号等を用いることもできるし、予め契約された顧客IDを用いてもよい。また、引き渡し情報は、引き渡しを希望する画像の形態、すなわちプリントか、プリントをアルバムにした写真集か、CD-R等のメディアかなど、また、引き渡し場所、料金の支払い方法等を含んでいる。

このような発注者情報および引き渡し情報の送信は、映画上映の始めに一回だけ行って、その後は、顧客が映画を見ながらいいと思った場面を場面指定手段16で（例えば場面指定ボタンを押すことにより）指定するのみで、場面指定情報とともに顧客IDと一緒に送信され、場面の指定が画像の発注をも兼ねるようにすることが好ましい。

【0028】

場面指定情報と、発注者情報および引き渡し情報からなる画像発注情報は、デジタル画像データ取出手段20に送られる。ステップ104において、デジタル画像データ取出手段20は、受け取った場面指定情報により、制御装置14からその指定された場面の画像データを取り出す。場面指定情報としては、特に限定はされないが、例えば、場面指定手段16を操作したときの時刻等を用いることができる。

次のステップ106で、デジタル画像データ取出手段20は、制御装置14から取り出したデジタル画像データを、発注者情報および引き渡し情報とともにメモリ22に記録する。このときメモリ22は、デジタル画像データと発注者情報等をリンクさせて記憶するようにする。

【0029】

次に、ステップ108において、画像処理装置24は、メモリからデジタル画像データを読み出して所定の画像処理を施して動画鑑賞記念画像を作成する。このとき引き渡し情報によりプリントとして引き渡されることが指定されていた場合には、プリント用画像データを作成するための画像処理が行われる。また、記録媒体に出力して画像ファイルを作成するように指定されている場合には、画像ファイル用の画像データを作成するための画像処理を行う。

次に、ステップ110において、プリントの場合には、プリント出力手段26から、画像ファイルの場合には、画像出力手段28から、それぞれ動画鑑賞記念画像が出力される。また、プリントの場合に、個々の写真プリントを提供するのでもよいが、適当にレイアウトして写真集の形にして提供した方が、単価のメリットもあり、また、予め映画館側で用意して販売しているパンフレットと違い、顧客の好みの写真集に編集されていることで、顧客の満足感を満たすことができ

る。この点、従来のプロマイドとも異なる写真の提供方法となる。

【0030】

最後に、画像引渡手段30において、上で作成された動画鑑賞記念画像と発注者情報とをステップ112で照合して、ステップ114で料金支払いと引き換えに動画鑑賞記念が顧客に引き渡される。

画像引渡手段30は、例えば、画像発注手段18（あるいは場面指定手段16）により、画像発注情報の記録された記録媒体あるいは磁気カード（顧客のIDカードやクレジットカード等）などから情報を読み取る読取装置、およびタッチパネル式の操作部を有しており、顧客が画像引渡手段30の指示に従って操作部を操作することにより、照合及び引き渡しを行うものである。

【0031】

ステップ112において、顧客が画像発注情報の記録されたIDカード等の記録媒体を画像引渡手段30の読取装置にかけると、画像引渡手段30は、該記録媒体から発注者情報を読み取り、その発注者情報と動画鑑賞記念画像に付属されている情報とを照合する。これにより、確かに画像発注者の発注した画像であることが確認されると、次にステップ114において、決済および画像の引き渡しが行われる。照合が行われると、タッチパネル上に決済方法が表示され、顧客がタッチパネルを操作して決済方法を指定し、装置の指示に従って操作することにより、画像引渡手段30の製品引き渡し口からプリントあるいは画像データの記録された記録媒体が排出され、顧客に引き渡される。決済方法は、その場で顧客が現金を装置に投入するようにしてもよいし、クレジットカードを用いて、そこから引き落とすようにしてもよい。

【0032】

画像引渡手段30は、例えば、映画館の出入り口付近に設置され、顧客が帰りにここで動画鑑賞記念画像を受け取ることができるのが望ましいが、このような形式に限定されるものではない。例えば、このような装置による自動引き渡しでなく、受け付けカウンターの係員に、顧客が発注者情報等の記載された入場券の半券を示すと、係員が照合・確認を行い、顧客に画像を引き渡すというような形式でもよい。あるいは、例えば後日、映画館と契約しているラボやコンビニエン

ストア等において、顧客が画像発注情報の記録された記録媒体やIDカード等を持参して、画像を引き渡してもらうようにしてもよい。あるいは、引き渡し情報を入力する際、住所等を入力しておき、後日顧客の自宅に郵送してもらうようにしてもよい。

【0033】

次に本発明の第2実施形態について説明する。

第2実施形態の大まかな処理の流れを図2と同様の形で、図3に示す。図3に示すように、第2実施形態も、第1実施形態と同様に、顧客が映画を鑑賞して指定した場面の画像を動画鑑賞記念画像として顧客に提供するものであるが、本実施形態が前記第1実施形態と異なるのは、映画の場面の画像に顧客の画像を合成して動画鑑賞記念画像を作成する点である。

【0034】

図3のステップ200の場面指定、ステップ202の画像発注、ステップ204の指定場面画像データ出力、ステップ206の画像データを発注者情報等とリンクして記憶、までは、前記第1実施形態と同様である。

次のステップ208において、顧客が指定した場面の画像に対応する画像データから動画鑑賞記念画像を作成する際に、顧客の画像を合成する。すなわち、そのためステップ210において、デジタルカメラ等の画像入力手段32より、顧客を撮影し、顧客の画像を入力する。ステップ208では、画像処理装置24において、この入力画像を用いて、前記指定場面画像データに合成して動画鑑賞記念画像を作成する。

【0035】

この顧客画像の入力のタイミングは、例えば、映画鑑賞終了後、顧客が貸与されたリモコンを返還する際、あるいは画像発注情報を記録したIDカード等の記録媒体を画像引渡手段30に挿入する際、または入場券の半券を引き渡しカウンターに差し出す際等において、顧客の要望があった場合に、顧客を撮影し、その画像を取り込むようにすればよい。あるいは画像入力手段32をスキャナとして、顧客が予め持ち込んだ画像をスキャナで読み込むことにより入力して用いるようにしてもよい。

顧客の画像は、顧客を特定する発注者情報とともに入力され、発注者情報をもとに所定の画像に合成される。顧客の画像を合成する場合に、例えば写真集として出力する場合には、場面の画像とは別に、場面の画像に対し顧客の画像を余白部分に適当にレイアウトして合成するようにしてもよいし、場面の画像の中に嵌め込んで合成するようにしてもよい。

【0036】

この場合、動画鑑賞記念画像の作成は、映画終了後、顧客が画像の合成を希望し、顧客の画像を入力してから行われることとなる。しかし、映画上映中に顧客から場面指定して画像発注があった場合にどんどんプリントを作成して、顧客の画像の合成されていないプリントを出力して顧客に引き渡し、顧客がこれを見てから顧客の画像を合成するプリントを選んで合成プリントを注文することができるようにしてもよい。

なお、ステップ212のプリント出力またはメディア記録、ステップ214の発注者情報と照合、ステップ216の決済および引き渡し、は第1実施形態と同様である。

【0037】

このように第2実施形態においては、映画の気に入った場面に顧客自身の画像を合成したプリントが得られるので、顧客個人のみのオリジナルのパンフレットが作成されることとなり、動画鑑賞記念画像の付加価値がより増大し、写真の面白みが増す。

【0038】

次に本発明の第3実施形態について説明する。

第3実施形態は、今までのような静止画ではなく、動画として出力し、顧客が感動したワンアクションの部分を抜き出して作成した短編名場面集として提供しようというものである。

【0039】

第3実施形態の大まかな処理の流れを図4に示す。

図4に示すように、基本的な処理の流れは、図2に示す第1実施形態と同様である。本第3実施形態が第1実施形態と異なる点は、顧客の場面指定に対して、

指定場面の画像データを出力するのではなく、その指定場面を含むワンアクションの動画を出力する点である。

【0040】

図4において、ステップ300の場面指定、ステップ302の画像発注、は前記第1実施形態と同様である。

ステップ304において、デジタル画像データ取出手段20は、制御装置14から指定場面を含むワンアクションの動画場面を取り出す。このワンアクションの動画場面は、システム側で予め所定の時間範囲を設定しておいてもよいし、自動的に場面の切り替わりを検出して取り出すようにしてもよい。さらに顧客が範囲を指定できるようにしてもよい。

ステップ306において、取り出されたワンアクションの動画場面は、発注者情報とリンクさせてメモリ22に記憶される。

【0041】

ステップ308において、メモリ22に記憶されたワンアクションの動画場面は、所定の画像処理を施されて、所定のメディアに記録される。この所定のメディアとは、顧客が引き渡し情報で指定したものであり、例えばビデオテープやCD-R等の記録媒体等である。

ステップ310の発注者情報との照合、ステップ312の決済及び引き渡し、は第1実施形態と同様である。

【0042】

このように、本実施形態では、映画鑑賞場面の中から、顧客が指定した好みのワンアクション毎の動画場면을ビデオテープやCD-R等の記録媒体に記録して提供することで、顧客が自分好みの短編名場面集を家庭で再生容易な形で楽しむことができる。

【0043】

次に本発明の第4実施形態について説明する。

第4実施形態は、映画鑑賞中に顧客が取り敢えず場面を指定しておき、後でその指定場面を含む所定範囲の画像をモニタに表示して、その中から最終的にプリントを発注する場面を指定するものである。

【0044】

ステップ400の場面指定およびステップ402の画像発注（発注者情報入力）は第1実施形態と同様である。

ステップ404においては、指定された場面の位置のみをメモリ22に記憶する。またステップ406では、上記指定場面の位置とリンクさせて発注者情報もメモリ22に記憶する。

映画終了後、顧客が例えば映画館内に設置されたモニタ34および場面選択手段36を操作して最終的に発注すべき場面の画像を選択する。ステップ408において、発注者情報の記録されたIDカード等の記録媒体を用いて、あるいはキーボードやマウス等の操作系からなる場面選択手段36を操作して発注者情報を入力すると、ステップ410において、制御装置14から指定場面の前後一定範囲の画像データが出力され、ステップ412においてモニタ34に表示される。

【0045】

ステップ414において、顧客は、このモニタ22の表示を見て、最終的に発注すべき場面を、場面選択手段36により指定する。最終的に場面が指定されると、ステップ416において、指定された場面の画像データが出力され、ステップ418において、所定の画像処理が施され、動画鑑賞記念画像が作成される。ステップ420において、上で作成された動画鑑賞記念画像は、顧客が指定した引き渡し情報に従って、プリントに出力され、またはメディアに記録される。

ステップ422の照合、ステップ424の決済および引き渡し、は第1実施形態と同様である。

【0046】

このように本実施形態によれば、顧客が指定した場面そのものだけでなく、その前後一定範囲の画像をモニタに表示して、その中から顧客が再度場面を指定するようにしたため、顧客が望むベストの場面を選択することができる。

すなわち、最初に顧客が指定した場面が必ずしもいい場面とは限らず、例えば最初の指定場面においては、実は人物が目を瞑ってしまっていたというような場合に有効である。

また、上述した例では、顧客がモニタ表示を見ながら再度場面指定をするよう

にしているが、装置側で自動的に、所定範囲内から顧客が最初に指定した場面に近い場面で、静止画として取り出したときにボケやブレの少ない高品質の画像を選ぶようにしてもよい。

また、このように、顧客がモニタ表示を見ながら再度場面指定を行う場合、あるいは装置が自動的に所定範囲から指定場面を選択する場合、その所定範囲内に指定場面に対応するベストな画像が存在しない場合には、所定範囲をさらに広げて、あるいはシフトして、新たな範囲の中で画像を検索して指定を行うようにしてもよい。

【 0 0 4 7 】

さらに、前述した第 1 実施形態のように、顧客が場面指定を行い、その指定場面の再現されたプリントを受け取るという場合においても、場面指定をしたらあとはシステム側におまかせで、引き渡しを待つだけというのではなく、引き渡しの前に、再度顧客が自分で発注した場面の画像をモニタで確認できるようにしてもよい。

なお、本実施形態のような、顧客による指定場面の再確認は、プリント等に静止画として出力する場合だけでなく、前記第 3 実施形態のように動画として出力する場合にも行うようにしてもよい。

【 0 0 4 8 】

次に本発明の第 5 実施形態について説明する。

本第 5 実施形態は、映画中の場面の画像を予めデータベースに保持しておき、顧客が場面指定をすると、その中から最も近いものを選びだして利用するようにするものである。

【 0 0 4 9 】

第 5 実施形態の大まかな処理の流れを図 6 に示す。

図 6 に示すように、第 5 実施形態の処理の流れは、ほぼ第 1 実施形態と同様であり、異なる点は、ステップ 5 0 4 において、顧客が指定した場面の画像をデジタル画像取出手段 1 6 が制御装置 1 4 を通じて映像信号から取り出して来るのではなく、データベース 3 8 に予め保持されている場面の画像の中から、顧客が指定したものに最も近いものを引いて来る点である。その他の点は、第 1 実施形態

と同様である。

【0050】

このように本実施形態では、動画鑑賞記念画像となるべき場面の画像が予め準備されていることで、良い場面の画質の良い画像を記念画像として提供することができる。すなわち、従来、映画撮影場面において、映画撮影とは別に、ボケやブレの無い、画質の良いスチル写真を撮影して、映画の宣伝写真やブロマイドとして映画館等で販売したように、動画の中から顧客が指定した場面の画像に実質的に等しい場面の画像を、ボケやブレの無い質の高い画像として予め準備しておくことで、良質な動画鑑賞記念画像を顧客に提供するものである。

【0051】

このように予め映画の場面の画像を用意しておくことにより、デジタル画像データによる上映でなく、従来のフィルムによる上映の場合にも、本発明を適用することが可能となる。また、予め動画鑑賞記念画像が準備されていることで、提供される画像と著作権との関係を明確にできるように、提供される画像とその範囲を特定できるという効果があり、さらに価格の設定にも有効である。

また、映画等の動画の場面は、指定された場面の一連の場面のうち画像品質が保証し得る画面であれば、たとえ顧客が指定した場面そのものでなくその前後であっても、実質的に等しい場面と見なせるものであればよく、特に動きのある場面では、静止画として取り出したときに、ボケやブレの少ない画面を選択することが望ましい。従って、予め準備しておく画像は、動画の場面对応付けられた画像であれば、予めスチルカメラによって撮影された、従来のブロマイドの様なものであってもよい。

【0052】

また、第3実施形態のように、静止画でなくワンアクションの動画場面を出力する場合においても、映画の所定範囲毎に、ワンアクションの動画を予め用意しておくようにしてもよい。この場合は、顧客が指示した場面の範囲に応じて、準備してあるワンアクションの動画のなかで場面範囲がもっともよく重なるものを選択する。そして選択された複数のワンアクションの動画をCD-R等の記録媒体に出力して、動画鑑賞記念としての短編名場面集を作成する。

なお、ワンアクションの動画を準備するにあたり、音声の区切りのいい場面は、往々にして場面展開になることが多いため、音声の区切り毎を目処にワンアクションの短編動画として準備するようにしてもよい。

【0053】

上記実施形態は、いずれも映画館における映画上映を鑑賞しながら場面指定を行い動画鑑賞記念画像を発注するものであったが、本発明は、このような例には限定されず、例えば、飛行機内での映画上映の場合にも適用可能であり、記念画像に日付や飛行機の便名、行く先等を記録することで、動画鑑賞記念のみならず旅行の記念にもなる。この場合、飛行機内では、画像発注情報を所定の記録媒体に記録するのみにして、後日その記録媒体を所定の画像配給所等に持って行き、記念画像の引き渡しを受けるようにしてもよいし、機内での画像発注時に画像の受け取り先の住所等を指定することにより、後日郵送等で受け取るようにしてもよい。

【0054】

また、その他、鑑賞する映画等の動画は、上述したようなデジタル画像データによる上映でもよいし、映画フィルム式の画像によるものでもよいし、また、ビデオテープ、ビデオデスク等の記憶媒体や、ICメモリ等のソリッド記憶手段に記憶された蓄積画像からの画像信号に基づいて形成される、ビデオ式の画面でもよい。また、鑑賞画面は、映写幕に投影されるものでも、映像が直接ディスプレイ手段に形成表出されるものであってもよい。

【0055】

また、家庭において、ビデオやTV放送を見ながら、気に入った画像を指定して、例えばインターネット等の通信ネットワークを介して、画像供給元に注文するようにしてもよい。このとき、動画鑑賞記念画像をプリントやCD-R等の記録媒体で受け取るようにしてもよいし、画像データそのものをインターネットを介して配信してもらい、顧客自身のプリンタでプリントアウトするようにしてもよい。

【0056】

以上、本発明の動画プリントサービス方法及びシステムについて詳細に説明し

たが、本発明は、以上の例には限定されず、本発明の要旨を逸脱しない範囲において、各種の改良や変更を行ってもよいのはもちろんである。

【 0 0 5 7 】

【発明の効果】

以上説明した通り、本発明によれば、顧客が映画やビデオあるいはTV放送等を鑑賞している場合に、顧客が選択した場面の画像を、プリント、写真集あるいは短編動画集として所定の記録媒体に出力し、動画鑑賞記念画像として質の高い画像を顧客に提供することができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】 本発明に係る動画プリントサービス方法を実施する動画プリントシステムの概略を示すブロック図である。

【図 2】 本発明の第 1 実施形態の大まかな処理の流れを示すフローチャートである。

【図 3】 本発明の第 2 実施形態の大まかな処理の流れを示すフローチャートである。

【図 4】 本発明の第 3 実施形態の大まかな処理の流れを示すフローチャートである。

【図 5】 本発明の第 4 実施形態の大まかな処理の流れを示すフローチャートである。

【図 6】 本発明の第 5 実施形態の大まかな処理の流れを示すフローチャートである。

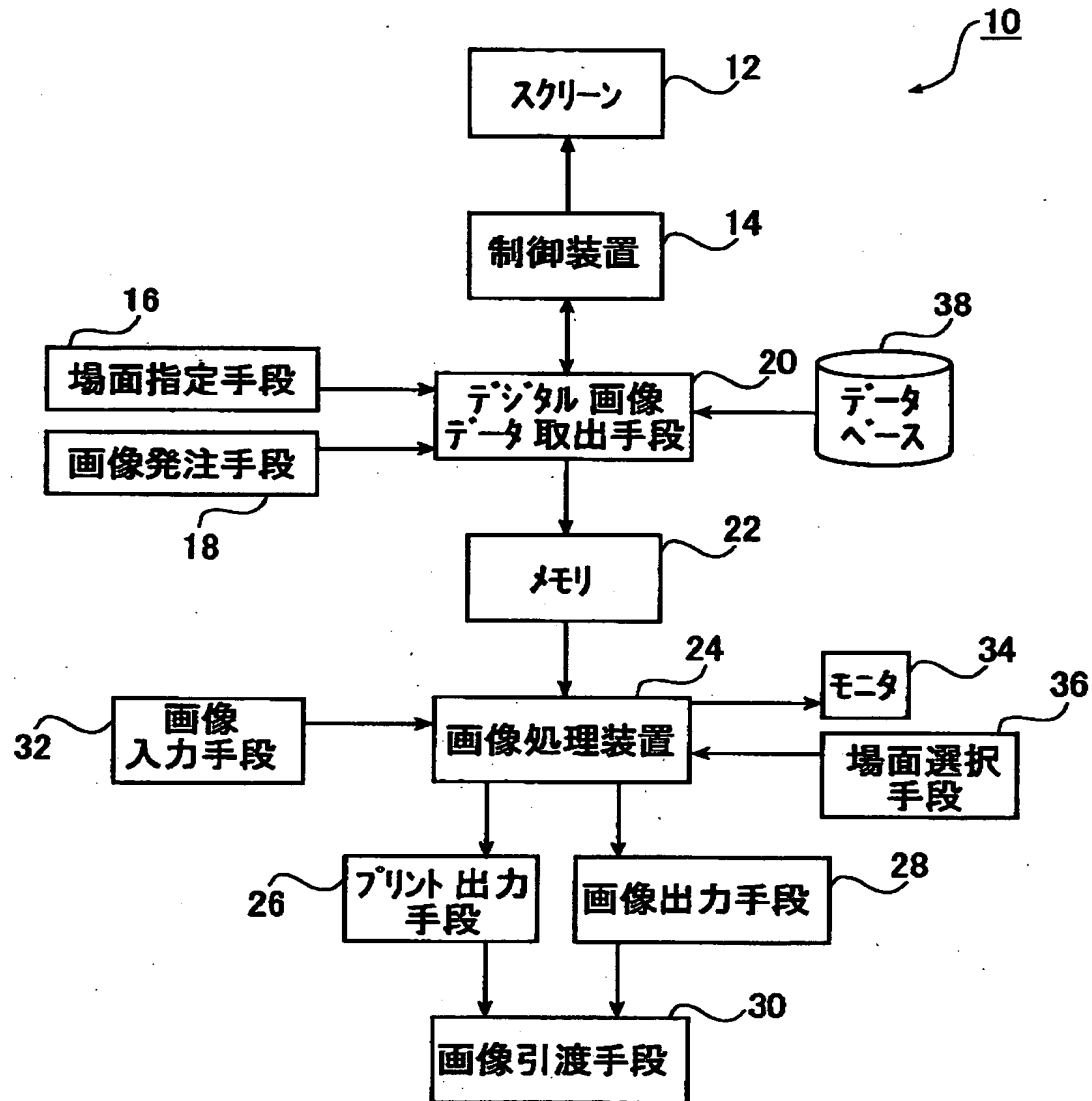
【符号の説明】

- 1 0 動画プリントシステム
- 1 2 スクリーン
- 1 4 制御装置
- 1 6 場面指定手段
- 1 8 画像発注手段
- 2 0 デジタル画像データ取出手段
- 2 2 メモリ

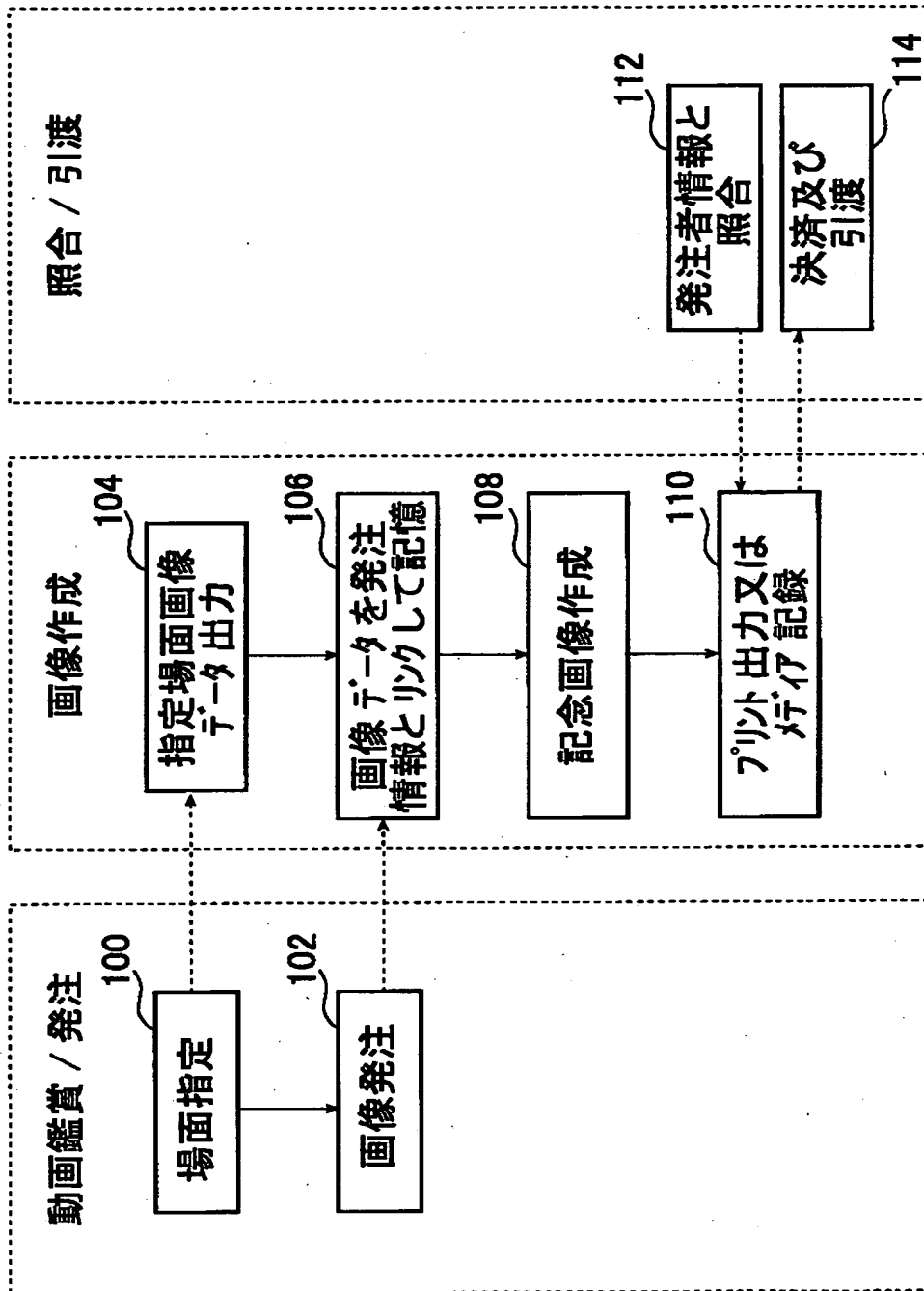
- 2 4 画像処理装置
- 2 6 プリント出力手段
- 2 8 画像出力手段
- 3 0 画像引渡手段
- 3 2 画像入力手段
- 3 4 モニタ
- 3 6 場面選択手段
- 3 8 データベース

【書類名】 図面

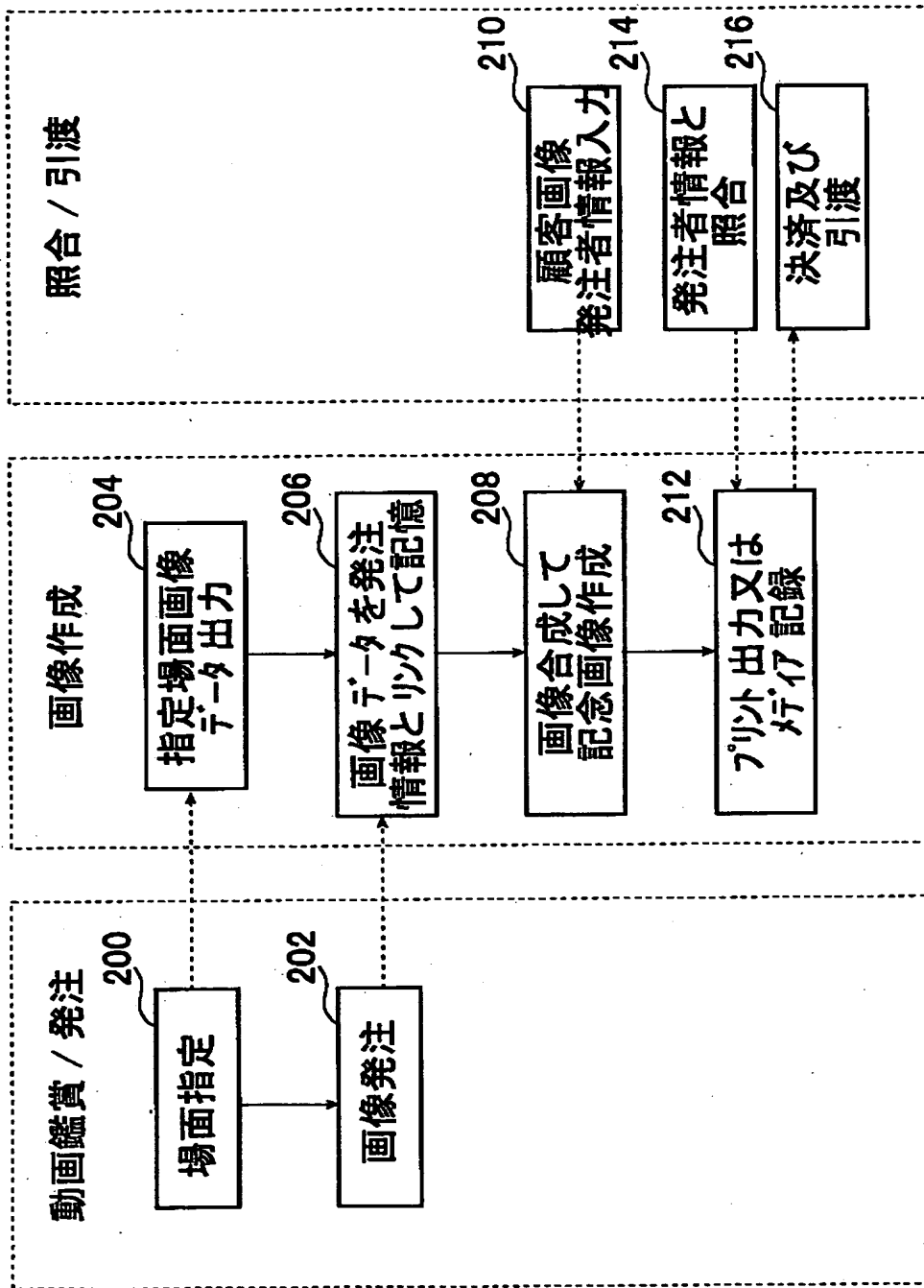
【図1】



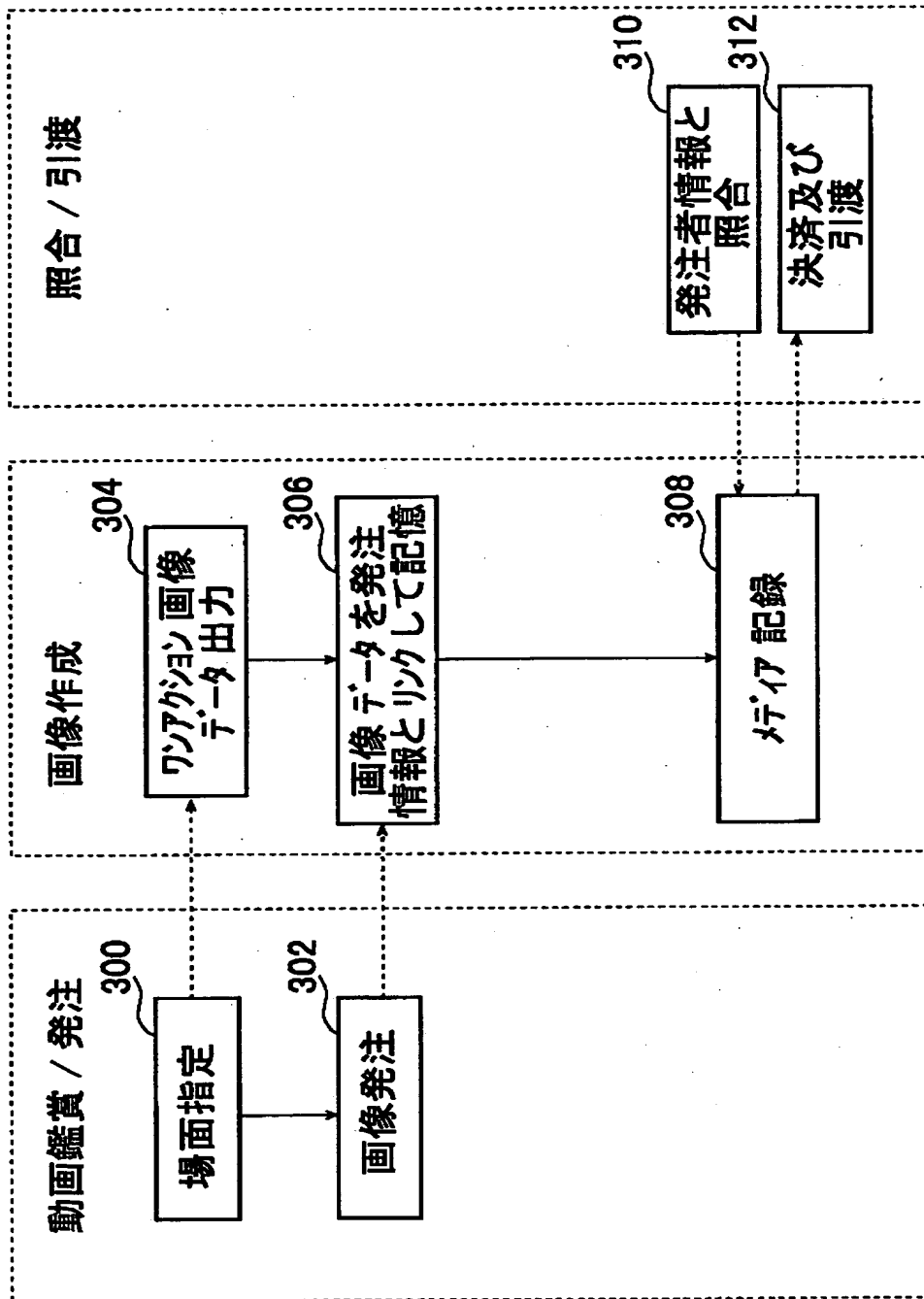
【図 2】



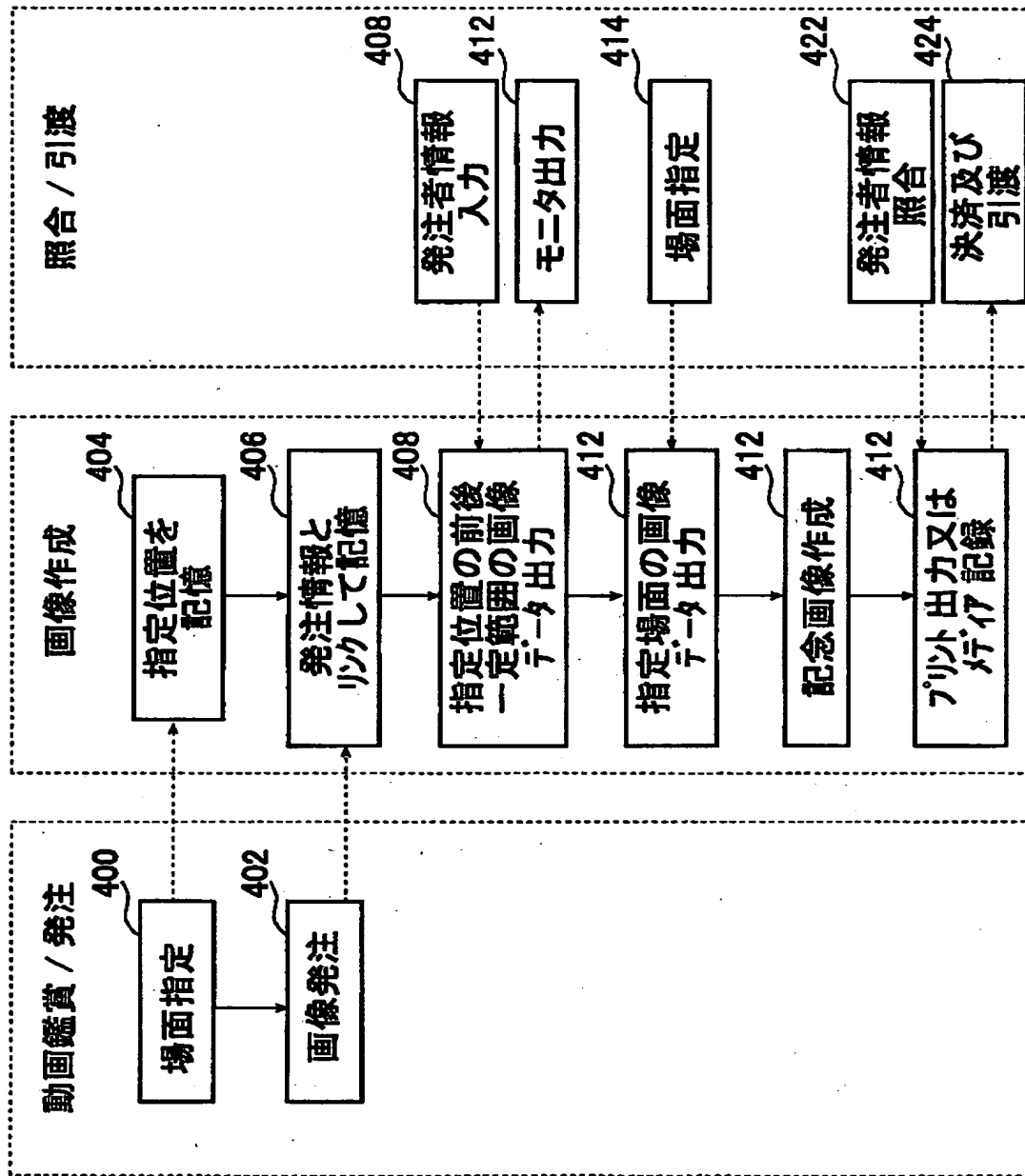
【図3】



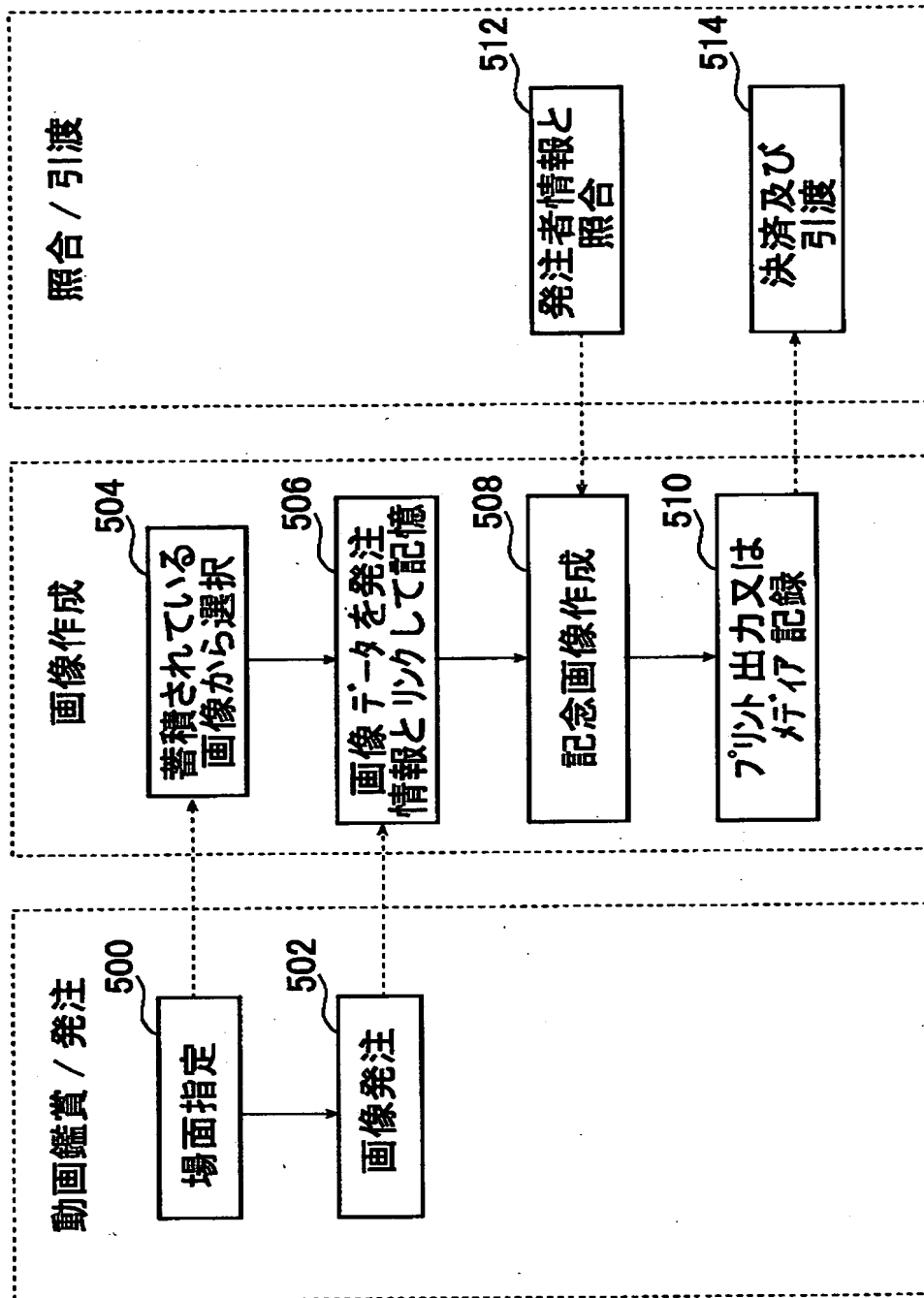
【図4】



【図 5】



【図6】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 顧客が映画やビデオ等を鑑賞している場合に、顧客が選択した場面の画像を動画鑑賞記念画像として記録媒体に出力して顧客に提供する。

【解決手段】 顧客が動画鑑賞中に、画像を所望する前記動画中の場面を指定して、顧客を特定する発注者情報及び前記画像の引き渡し方法を指定する画像引き渡し情報とともに、画像の発注をすると、前記場面指定に基づいて、前記動画の画像を表す映像信号から、該当指定場面に対応するデジタル画像データを取り出し、所定のメモリに記憶し、該記憶されたデジタル画像データを用いて、前記指定場面を再現したプリントを出力し、または該デジタル画像データを所定の記録媒体に出力することにより、動画鑑賞記念画像を作成し、前記発注者情報と照合し、前記指定された引き渡し方法で顧客に引き渡す。

【選択図】 図 1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000005201]

1. 変更年月日 1990年 8月14日
[変更理由] 新規登録
住 所 神奈川県南足柄市中沼210番地
氏 名 富士写真フイルム株式会社

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☒ **BLACK BORDERS**
- ☐ **IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- ☐ **FADED TEXT OR DRAWING**
- ☒ **BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- ☐ **SKEWED/SLANTED IMAGES**
- ☐ **COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- ☐ **GRAY SCALE DOCUMENTS**
- ☐ **LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- ☐ **REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- ☐ **OTHER:** _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.